

要介護の主要要因に応じた対策を強化

要介護要因
第2・3位

認知症の対策強化

要介護要因
第1位

認知症対策 67百万円

認知症予防推進事業

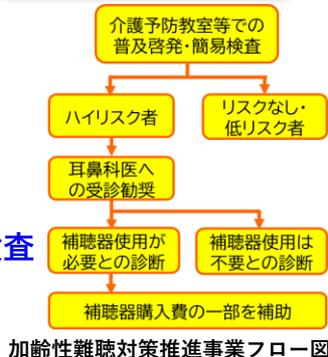
- 「認知症予防プログラム」の全市町での活用に向けて、市町介護予防教室等に理学療法士等の専門職を講師として派遣
- ★地域での主体的な実践に向けて、講師の養成研修により講師数を拡充

★加齢性難聴対策推進事業

- 高齢者に介護予防教室等への参加を促し、参加した高齢者のうち、補聴器使用が必要と診断された者に対して、補聴器購入費の一部を補助

- ① 介護予防教室等での普及啓発・簡易検査
- ② ハイリスク者の抽出、受診勧奨
- ③ 耳鼻科医が補聴器使用の要否を診断
- ④ 補聴器購入費の一部を補助

座学(30分)	栄養、難聴など
運動(40分)	認知症予防運動
知的(20分)	計算、クイズなど



生活習慣病(脳血管疾患等)や骨折・転倒の対策強化

生活習慣・健康状態見える化事業 12百万円

- 野菜摂取量や骨密度の測定器を活用した健康無関心層への「気づき」の機会を創出
- イオンモール高松の「かがわ健診プラザ」に見える化機器を常設し、健診の流れに組み込む形での見える化測定の実施



市町での取組支援強化 9百万円

- 骨折予防を推進するため、全市町での骨粗しょう症検診の導入と受診率向上を支援

- ① 在宅保健師等による人的支援
- ② 有識者による保健指導等に係る技術的支援

★☆☆③ 骨粗しょう症の検査・治療に係る地域の医療体制を強化

若者や働き盛り世代へのアプローチ強化

健康行動への変容・定着を促す仕掛けづくり

★健康づくり支援体制整備事業 15百万円

<企業との連携>

- 歩きやすい服装での通勤や勤務を促す「スニーカービズキャンペーン」を賛同企業と連携のうえ実施



<県内大学との連携>

- 大学祭など県内大学・短大の地域開放イベントに併せ、「健康とウェルビーイング」を共通テーマに、各校の特色を生かした内容で開催する県民公開講座への補助

- 香川短期大学と連携し、健康課題に応じた推奨メニューの開発や試食会の開催、宇多津町の多世代交流センターでの高齢者や子育て世代を対象とした推奨メニューの試食会と併せた栄養指導等

その他健康づくり事業

- がん対策・検診受診率向上 22百万円
- 小児生活習慣改善事業 16百万円

健康づくり推進アドバイザー事業 9百万円

- かがわ健康ポイント事業(マイチャレかがわ!) 7百万円
- 歯周病早期発見支援事業 2百万円 など